

朝霞市基地跡地利用計画見直し検討委員会（第3回）
議事のまとめ

議事1＝朝霞市基地跡地利用計画の基本理念について

(1) 策定に当たっての枠組み

①目標年度＝21世紀中ごろ

- ・次の朝霞づくりのための拠点として、長期的に予算を投下していくためにも、次の時代を見据えて検討する。
- ・これからの20年、30年の話をするのではなく、少し弾力的にまとめながら時代の傾向に対応できるようにする。
- ・空間イメージとしては、21世紀の環境都市のシンボルとして世界に誇れる空間として発信できるようにする。

②対象地域＝「朝霞基地跡地」及び「一体利用又は提案が必要とされる地域」

- ・朝霞基地跡地だけで考えると財政的にも難しいので、必要に応じて周辺の空間も検討対象としながら少し広い範囲で考えていく形にする。

(2) 計画の基本理念及び基本方針の検討

- ・見直す利用計画の基本理念については、現行の利用計画にあるものをしっかり踏襲していく。
- ・これまでの基本理念や考え方を大枠としてそのまま捉えて計画方針をまとめた。
- ・現時点でのまとめは、確定版ではなく、このまとめを横に置きながら、今後、利用計画、空間計画を議論していく。空間計画等ができた時にフィードバックして、もう一度、今回の基本方針及びコンセプト等を作り上げ、最終的にまとめる。

(3) その他

- ・基地跡地を含めた市全体の戦略を組み込んだ具体的な計画をしていく。
- ・基地跡地をどうするかだけではなく、その周辺もひっくるめて、次の朝霞市をどう考えるか、都市戦略の観点からも少し議論をしていく。